

①10:00~10:45 YAMAKIN株式会社

プロビジョナルレストレーションを成功させる 新しい即重レジジン

主幹研究員 水田 悠介

歯科臨床において、プロビジョナルレストレーションは単なる一時的な補綴物ではなく、最終補綴の完成度や患者満足度を左右する重要なステップである。強度不足による破折や変色といったトラブルは、治療の円滑な進行や患者の満足度を低下させる要因となり得る。

これらの臨床的課題に対応するため、ヤマキンが開発した「デュラインSJ」は、操作性と審美性を両立したPMMA系即時重合レジジンである。本材は混和注入法（シリコーンコア法）に特化した流動性と硬化時間を備え、長期使用下でも高い色調安定性を維持する。また、高強度で破折しにくく、滑らかな表面仕上がりを得られることから、審美領域や長期暫間補綴にも適している。

本講演では、デュラインSJの開発背景にある臨床ニーズおよび使用感を中心に、操作の要点やトラブルを防ぐための工夫など、その有用性について解説する。

②10:45~11:30 株式会社ナカニシ

超音波とパウダーの融合で広がるメンテナンスの可能性

フリーランス歯科衛生士 土屋 和子

近年、歯周治療やメンテナンスにおいて「患者さんの快適性」と「術者の効率性」を両立するアプローチが求められています。超音波スケーラーとパウダーデバイスの利点を融合した最新のメンテナンスシステムは、効率的なバイオフィルム除去を可能にし、歯面や歯周組織への侵襲を最小限に抑えながら、よりやさしい治療を実現します。

本講演では、歯周治療からインプラントメンテナンス、ステイン除去までを対象とし、臨床現場での活用例を通じて、超音波とパウダー双方の特性を最大限に引き出すポイントを紹介します。

また、機器の操作性やチップ・パウダー選択の工夫など、日常臨床ですぐに応用できるヒントを交えながら、患者満足度と治療効果の両立を目指すメンテナンスの新たな形を提案します。